

## 市町村指定文化財取材票&lt;&lt;表&gt;&gt;

取材日	2023年	2月	18日	(記入者) 島田涼子	
取材参加者	石井	垣内	久門	小西	島田
	本井				
取材対象先	大和郡山市：額安寺本堂				

所在地	大和郡山市額田部寺町36				
所有者(取材対応者)名	喜多亮円住職 (個人情報守秘)		連絡先	0743-59-1128	
			PCアドレス	http://kakuanji.jp/	
取材申込	申込先・行政名など：		額安寺		
市町村指定文化財	彫刻	軀			
	建造物	1棟	額安寺本堂 2003(平成15)年3月26日指定		
文化財指定理由	江戸初期の建造だが、外観や簡素で広々とした内陣空間は復古調で、奈良朝時代以来の伝統を継いでいる。				

## 文化財の状況

	設備・対策・点検・通知方法など	記入者の感想
防火対策	火災報知機、消火器は本堂内の厨子の裏側に設置。避雷針は無い。	消火器は本堂入口付近にも設置された方が良いのでは。
	被害の有無、対策など	記入者の感想
獣害対策	本堂の天井裏にコウモリが侵入したため、業者に駆除してもらった。夏になると再び侵入するので、あまり効果はない。	コウモリがどこから侵入するのか不明とのこと。その対策が必要と思った。
管理者の全体的要望・提案など	特にない。	

## 取材を終えて感じた文化財保護状況の全体的今後の課題(修復、維持、管理、環境など)

境内は大変きれいに整備され、市指定文化財の本堂、堂内の仏像、厨子などの保存状態も良いので、ぜひこれを維持していただきたい。お寺への道が少し狭いので、万が一の火災時に消防車が近くまで入れるのかという心配がある。

市町村指定文化財取材票〈裏〉

取材日	2023年	2月	18日	(記入者) 島田涼子	
取材参加者	石井	垣内	久門	小西	島田
	本井				
取材対象先	大和郡山市：額安寺本堂				

〈写真撮影許可済み〉

文化財指定名 額安寺本堂

江戸時代建立の市指定文化財・額安寺本堂	本堂の床下と礎石部分
---------------------	------------



本堂内に設置の消火器

耐震性を備えた県指定文化財の宝篋印塔



文化財の由緒・説明板の有無など

記入者の感想

聖徳太子が釈迦の祇園精舎にならって開いた学問道場「熊凝精舎」の跡地に創建された額田寺（ぬかだでら）に由来するお寺。平安時代に衰退したが、鎌倉時代に忍性がこの寺で得度し、寺の復興に努めた。本堂は江戸時代の建立で、堂内の木造文殊菩薩騎獅像（平安）は重文。境内の県指定の宝篋印塔（鎌倉）には説明板が設置されているが、本堂の説明板は無い。

本堂は屋根瓦も美しく、礎石の部分もしっかりしているようだ。後世に永く残してもらいたい建造物である。